

14

11月24日(土) 14:55~16:25

たけうち ゆきえ

社会学部 メディア学科

竹内 幸絵 教授

近代広告の誕生
ポスターがニューメディアだった頃

メッセージ

身近にある広告の表現から社会を考えます。あるのがあたりまえと思わず、なぜそれがあるのかを考えてみましょう。

概要

本講義のテーマは「広告」です。

「広告」は近代社会の成立と共に生まれ、その成熟と共に拡大してきた社会装置です。今日の社会において「広告」に触れずに暮らすことはもはや不可能でしょう。私たちは知らず知らずのうちにそれらの「広告」から様々な影響を受けています。広告は近代的(≒現代的)な存在であり、「社会や時代を敏感に反映する鏡」ともいわれます。だからこそ逆に「広告」は、それを生み出した社会や時代を知る手掛かり(証左)となるのです。

講義では「広告」誕生のとき、1920年代から1930年代を題材に、「広告から社会を見る」とはどういうことなのかを考えます。この時代に最先端だった広告メディアは「ポスター」です。なぜ「ポスター」が最先端だったのでしょうか。具体的な事例を複数見ながらその表現が今日とどう違うのか、なぜ違うのか。あるいは何が同じなのかを検討し、「広告」の移り変わり和社会の変遷との関係について考察します。